

# 営農だより 第10号

## 目標

- ①「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
- ②粒張が良く、食味値 80 点以上の良食味米

～出穂期になります。病虫害防除を徹底し、品質を落とさないようにしましょう!!～

本年は梅雨明けが早く、6月・7月中旬までの降水量が平年と比較し大幅に少なく推移しました。また6月末から7月にかけて晴れの日が続き気温・日照時間が平年を上回っています。しかし全国各地で局所的な大雨に見舞われています。向こう1か月も気温、降水量、日照時間はともに平年並みと予想されておりますが、今後の天候に注意しましょう。

6月中旬までは例年の同時期と比較しほぼ同程度の生育速度でしたが、6月末からの高温と豊富な日照時間により生育が進み出穂期に関しても昨年より早い予想となっています。（本年は昨年と比較し2日程度早い）

稲こうじ病（出穂14～10日前）の防除はできましたか？今後の重要な管理として、品質を落とさない為の病虫害防除があります。特にカメムシ防除をしっかりと行いましょう！まずは畦畔の草刈りを出穂10日前までに終わらせ、収穫2週間前まで草刈りを行わないようにして下さい。その上で薬剤防除を徹底しましょう。

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲体が水分を多く必要とします（詳細は裏面へ）。現在中干しを行っている方もいるかと思いますが、この時期は土壌水分が不足しないようにしてください。その後は酸素供給も兼ねて適切な間断灌水の徹底により稲体を最後まで健全に保ち、登熟を向上させ粒厚の充実した良食味米の収穫を目指しましょう！！

## 【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

期間	項目	平均気温 (°C)			日照時間 (hr)			降水量 (mm)		
		本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月	計	12.8	11.5	1.3	153.9	161.3	95.4	383.5	252.6	151.8
5月	計	15.9	15.9	0	168.1	158.6	106.0	270.0	243.7	110.8
6月	計	19.5	19.2	0.3	119.4	103.0	115.9	139.0	312.5	44.5
7月	1～5日	23.3	21.5	1.8	18.2	14.8	123.0	15.0	73.9	20.3
	6～10日	23.8	22.1	1.7	25.0	16.8	148.8	0.5	71.7	0.7
	11～15日	23.2	22.6	0.6	7.5	18.4	40.8	42.5	60.6	70.1
7月前半	計	23.4	22.1	1.3	50.7	50.0	101.4	58.0	206.2	28.1

おいしいをつくりましょ。  
富士伊豆農業協同組合

発行 令和4年7月20日  
北駿産米改良推進協議会  
JAふじ伊豆御殿場営農経済センター  
TEL:0550-84-4820

## 【管内水稻生育状況】

株間平均 19.3 cm

7月15日(金)現在

場所	標高 (m)	植付本数	茎数 (本)	茎数/㎡	草丈 (cm)	葉齢	葉色	田植え日
神山(町屋)	295	3.5	16.6	302	74.9	11.9	3.4	5/3
吉久保	370	4.1	23.6	359	76.6	12.6	3.7	5/1
大堰	400	3.6	24.4	378	79.2	11.9	4.0	5/3
用沢	460	3.3	23.2	411	79.6	12.5	3.9	5/8
仁杉(カウ-周辺)	500	4.4	21.2	371	74.2	11.8	3.9	5/6
中畑	550	3.2	15.4	270	74.3	11.9	3.9	5/2
上柴怒田	610	2.6	19.6	386	83.1	12.4	4.6	5/6
平均		3.5	20.6	353.9	77.4	12.1	3.9	
R3 同時期		4.0	23.3	403.7	67.6	11.7	4.1	

## 生育巡回の結果から…

### コシヒカリの出穂は昨年より2日程度早い

7月7日から7月15日までの7日間で、御殿場市・小山町管内ほ場、部農会単位による生育診断を161箇所のは場で行いました。結果は下記の通りです。

### 【コシヒカリ出穂期予測】（生育巡回調査結果より）

支店	地区	本年予想出穂期	R3 出穂予想	支店	地区	本年予想出穂期	R3 出穂予想	
富士岡	全地区	7/31	7/30	北郷	下古城	7/28	8/1	
	原里	7/31	7/30		上古城	8/2	8/3	
	印野	8/3	8/4		大胡田	7/29	8/2	
	玉穂	8/2	8/6		用沢	7/30	8/4	
御殿場	東山	8/1	7/31		棚頭	7/30	8/1	
	高根	古沢	7/30		8/4	上野・阿多野	7/30	8/3
		大堰	7/31		8/2	大御神・中日向	7/30	8/2
		上小林	8/1		8/4	一色	8/2	8/6
	清後	8/1	8/5					
足柄	全地区	7/27	7/26					
小山	全地区	7/27	7/30					

※上記の出穂予想日は平均値であり、ほ場により異なります。

後半の肥料切れを防ぐためにも葉色がさめているほ場などは穂肥を適期適量で行いましょう。また、調査日現在の予想である為、調査後の天候により出穂期が前後することが考えられます。穂肥や水管理のタイミングは自身のほ場を確認して行いましょう。

【葉耳間長から予測する出穂期】

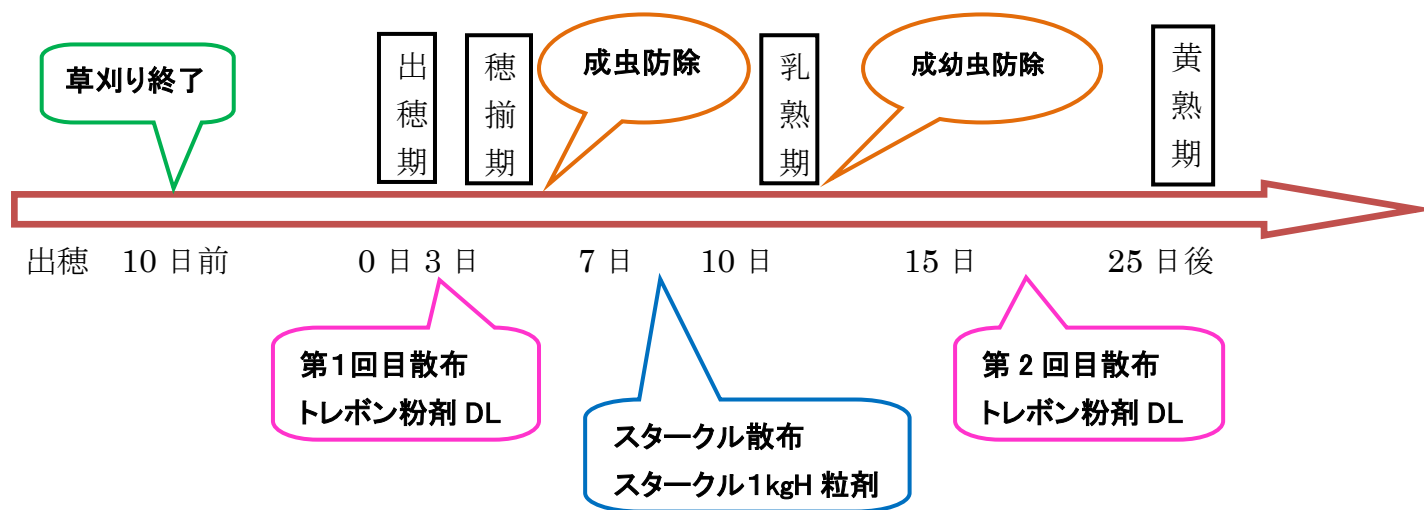
※葉耳間長：止葉の葉耳と2枚目の葉耳の間の長さ

- ① 止葉の葉耳が中に入っているのむいてみる。葉耳間長-10cm ⇒ 出穂15日前
- ② 止葉と第2葉の葉耳が重なった時 ⇒ 出穂10日前
- ③ 止葉の葉耳が第2葉の葉耳の上に出ている。 ⇒ 出穂5日前

再連絡

【カメムシ防除を行ってください!!】

カメムシが多発するほ場は、穂がほ場全体で80%~90%出た時期（穂揃期）と、それから2週間後の2回薬剤散布を行うと効果が高いので必ず行うようにして下さい。



※トレボン粉剤は：ほ場全体・畦畔・農道等カメムシの生息している場所にくまなく散布。

※スタークル1kgH粒剤の散布のポイント

浅水（田面が露出しないう程度）で散布する。深水や乾燥は避ける。  
田全体に均一に散布する。畦畔周りだけでなく田中央部までしっかり散布。  
出穂後7~10日後が散布適期。

薬 剤	使用時期	使用量 (10a)
トレボン粉剤 DL	穂揃期と乳熟期の2回	3 k g
スタークル 1 kg H 粒剤	穂揃期以降（出穂7~10日）	1 k g

どちらか散布

★峰の雪もちに限らず、コシヒカリでも必ず防除を行ってください。

適正な水管理により品質低下を防ぎましょう!!

穂ばらみ期に入ります。今後は、生育状況に適した水管理を行いましょう。  
今年梅雨明けが早く、順調に中干しが出来たほ場が多いかと思えます。出穂が近くなりましたので今後の水管理に気を付けましょう。  
穂ばらみ期（出穂の10~7日前）から出穂期（ほ場の5割程度出穂）にかけては稲体の水分蒸散量と酸素消費量が最大となります。ほ場の出穂期を見極めて、この期間は土壤水分が不足しないようにしてください。その後、酸素供給も兼ねて適切な間断灌水の徹底により稲体を健全に保ちましょう。  
7月後半以降も晴れの日が続く、気温が上がる予報です。今後は生育状況に適した水管理を行いましょう。（詳しくは下記Pointを参照）

Point

- ①夜間の水のかけ流し（走り水）により、ほ場温度を下げる（昼間のかけ流しは不要）
- ②出穂時は稲が最もエネルギーを消費する時期です。穂ばらみ期~開花期（出穂前後5~7日）は湛水（浅水程度）状態にしましょう。その後間断灌水の徹底。稲の根に酸素を与え、登熟を向上させる。日中の高温時には特に水を溜めないようにしましょう。
- ③落水時期を遅くする。（少なくとも出穂後25日以降の落水とする）

湿田については収穫作業を見据えた管理を優先して下さい。

間断灌水の実施

- ★出穂直前から出穂期  
3~4日間湛水状態を継続し、自然落水後田面が乾く前に入水する。
- ★出穂期以降の水管理  
落水時期までは2~3日で水がなくなる程度に入水し、自然落水後、田面が乾く前に入水する。

現在コロナの影響によりマスク着用で作業することもあるかと思えます。今後も気温が高くなることが予想されておりますのでしっかり休憩と水分補給を行い、熱中症等にお気をつけください。